

岐阜県と近くなった

# 金居原トンネル

No.30



関西電力によるダム建設の為、303号線には新しく同時にたくさんのトンネルができました。そのひとつの金居原トンネルは、杉野にできた唯一の近代的なトンネルです。全長307メートルで平成7年（1995年）に開通しました。工事は、片方から掘る工程でなく、両方から同時に掘り進めて中間地点で繋がるように掘る難しい作業で行われたそうです。そのおかげで、作業時間が短縮できたそうです。トンネルの中は、歩いている人が分かりやすいように側面が白く塗装されており、明るさも調節されています。ちなみにトンネルが開通する直前にトンネルの中で納涼祭が行われたそうです。

このトンネルの開通後は岐阜県との交通の便もよくなり、休日はたくさんの車が行き来します。村の人たちにとっても便利になり、岐阜県まで買い物に行く人が多くなりました。

トンネルには「バイの実」と「龍」が描かれています。理由は、バイの実は炒めるとピーナッツよりおいしく、しばって油を採ったりもできる杉野谷の昔の収入源だったからです。龍は、横山岳原東方山奥に夜叉が池という池があって、そこに龍が住んでいるという伝説から描かれたそうです。

## 選んだ理由

303号線は、昔は道も細くたいへんな道でした。特に岐阜に抜ける八草峠は土砂崩れも多かったようです。でもこのトンネルのおかげで便利になり、岐阜県と行きやすくなった。過疎化が進む杉野ですが、このトンネルによって少しでも杉野に立ち寄ってくれる人が増えるようにと選びました。